

Ⅱ 調査結果

2. 1 暮らしについて

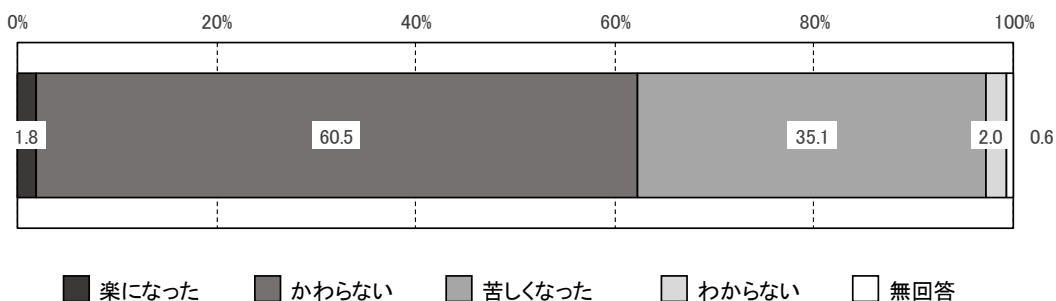
問1 暮らしの前年比較

問1 あなたやあなたの家庭の暮らし向き（家計など）は、去年の今頃と比べてどうですか。
（1つだけ）

全体（図 1-1）で見ると、「かわらない」が 60.5%と最も高く、次いで「苦しくなった」（35.1%）、「わからない」（2.0%）、「楽になった」（1.8%）の順となっている。

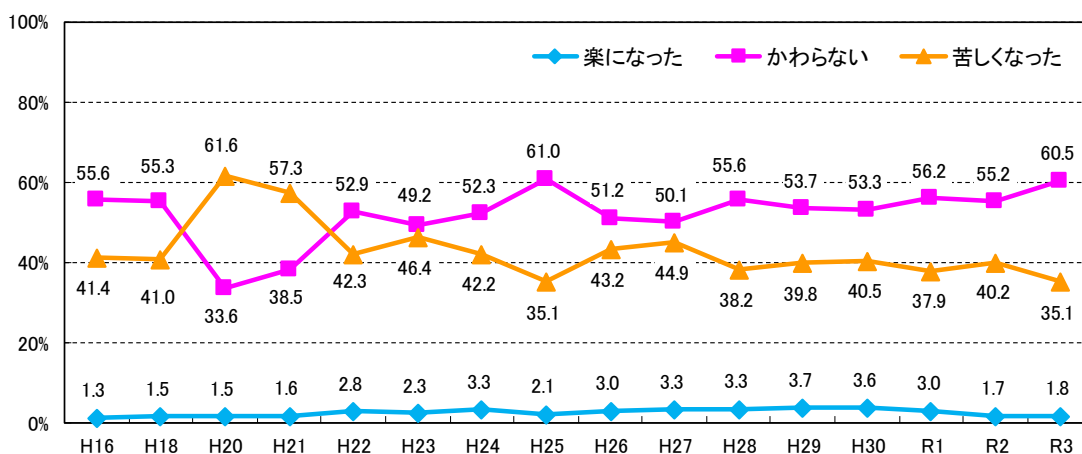
図 1-1 暮らしの前年比較

回答者数 (n = 1,553)



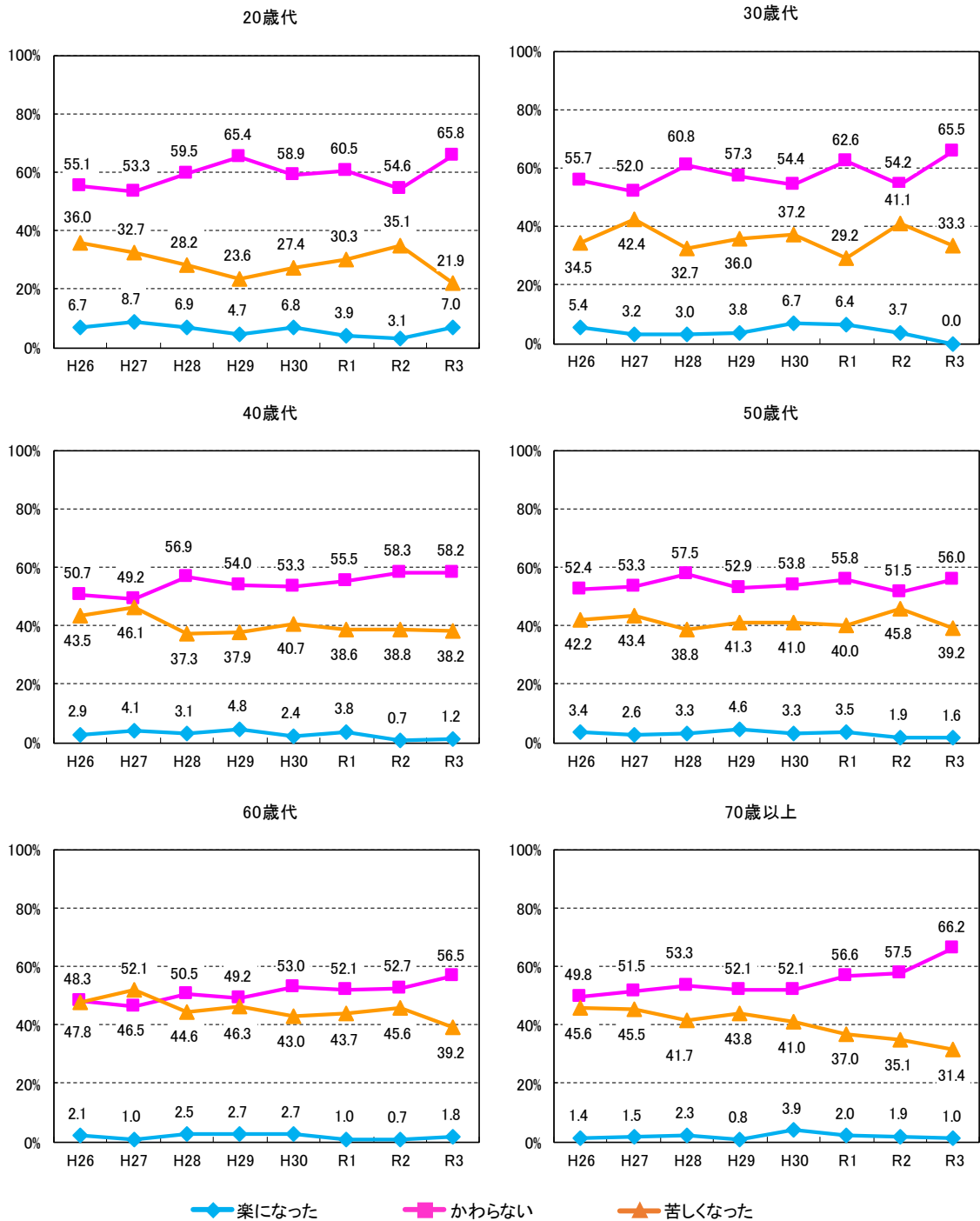
経年変化（図 1-2）で見ると、平成 22 年からは一貫して「かわらない」が最も高くなっている。令和 3 年は、令和 2 年より「楽になった」が 0.1 ポイント高くなっており、「苦しくなった」が 5.1 ポイント低くなっている。

図 1-2 【経年変化】暮らしの前年比較



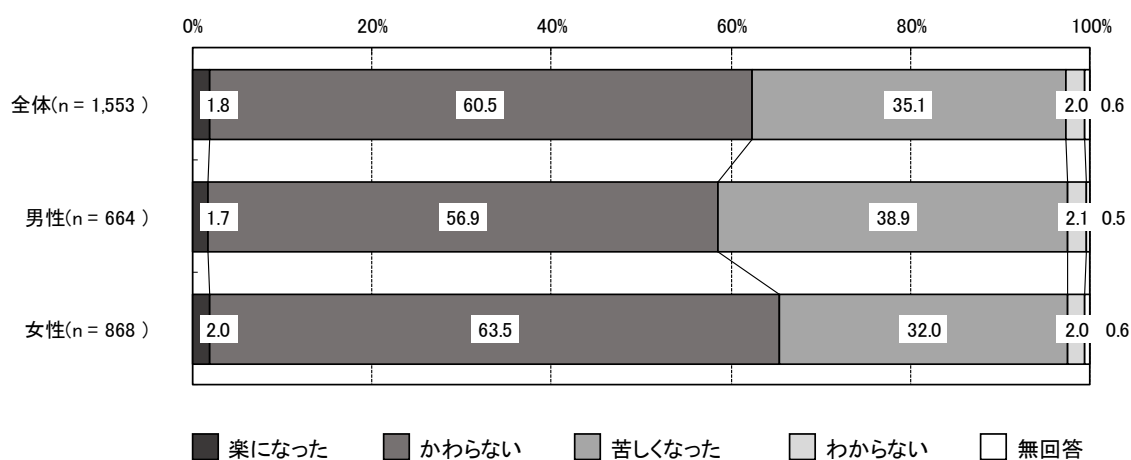
年代別の経年変化（図 1-3）で見ると、令和 3 年では令和 2 年に比べ、いずれの年代においても「苦しくなった」が減少しており、そのうち 20 歳代が 13.2 ポイントと最も減少幅が大きい。一方、「楽になった」は、20 歳代、40 歳代、60 歳代において増加している。

図 1-3 【経年変化(年代別)】 暮らしの前年比較



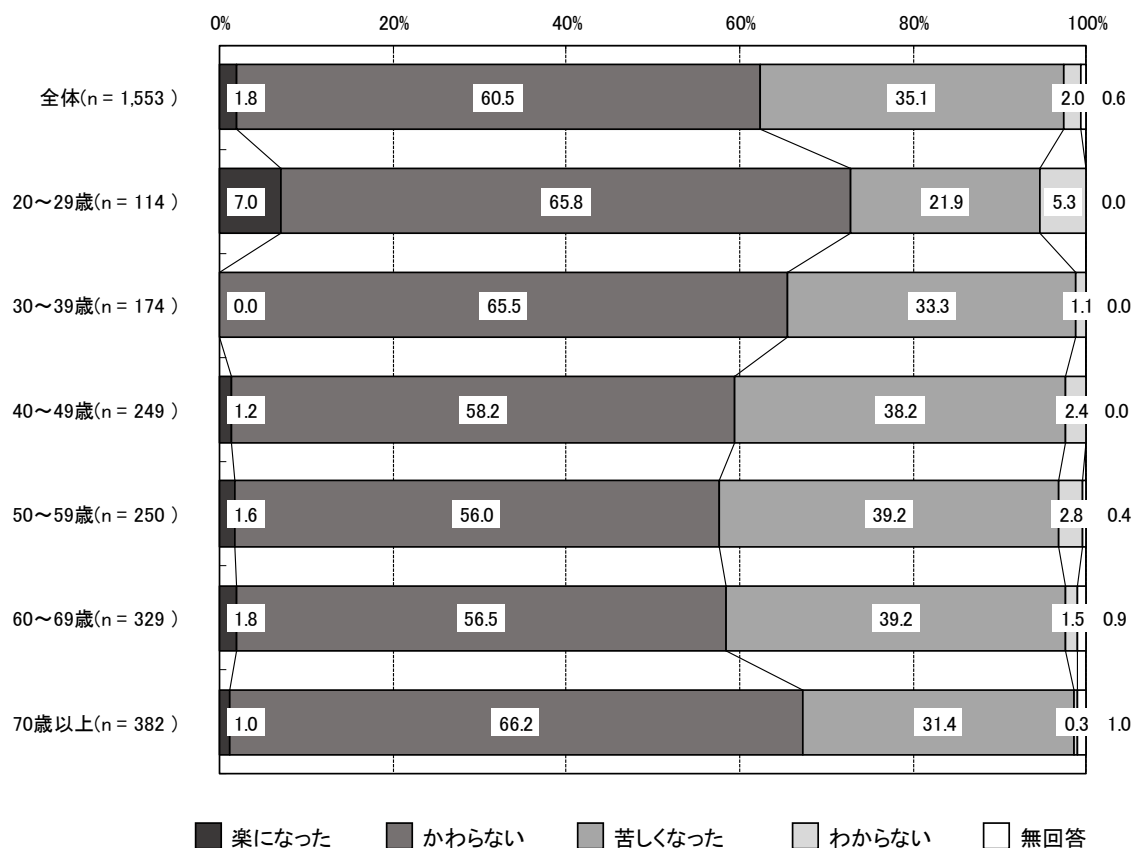
性別（図 1-4）で見ると、男女ともに「かわらない」が最も高く、男性が 56.9%、女性が 63.5%となっており、女性が男性より 6.6 ポイント高くなっている。

図 1-4 【性別】くらしの前年比較



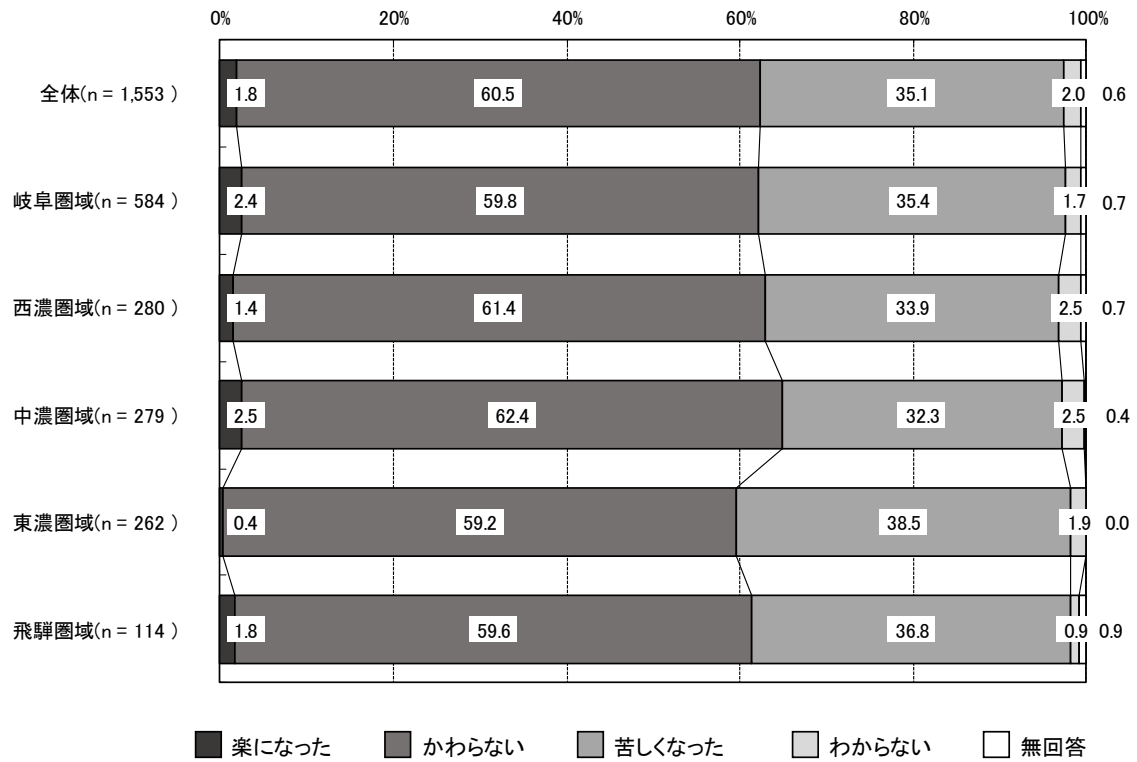
年代別（図 1-5）で見ると、いずれの年代においても「かわらない」が最も高く、そのうち 70 歳以上が 66.2%と最も高くなっている。

図 1-5 【年代別】くらしの前年比較



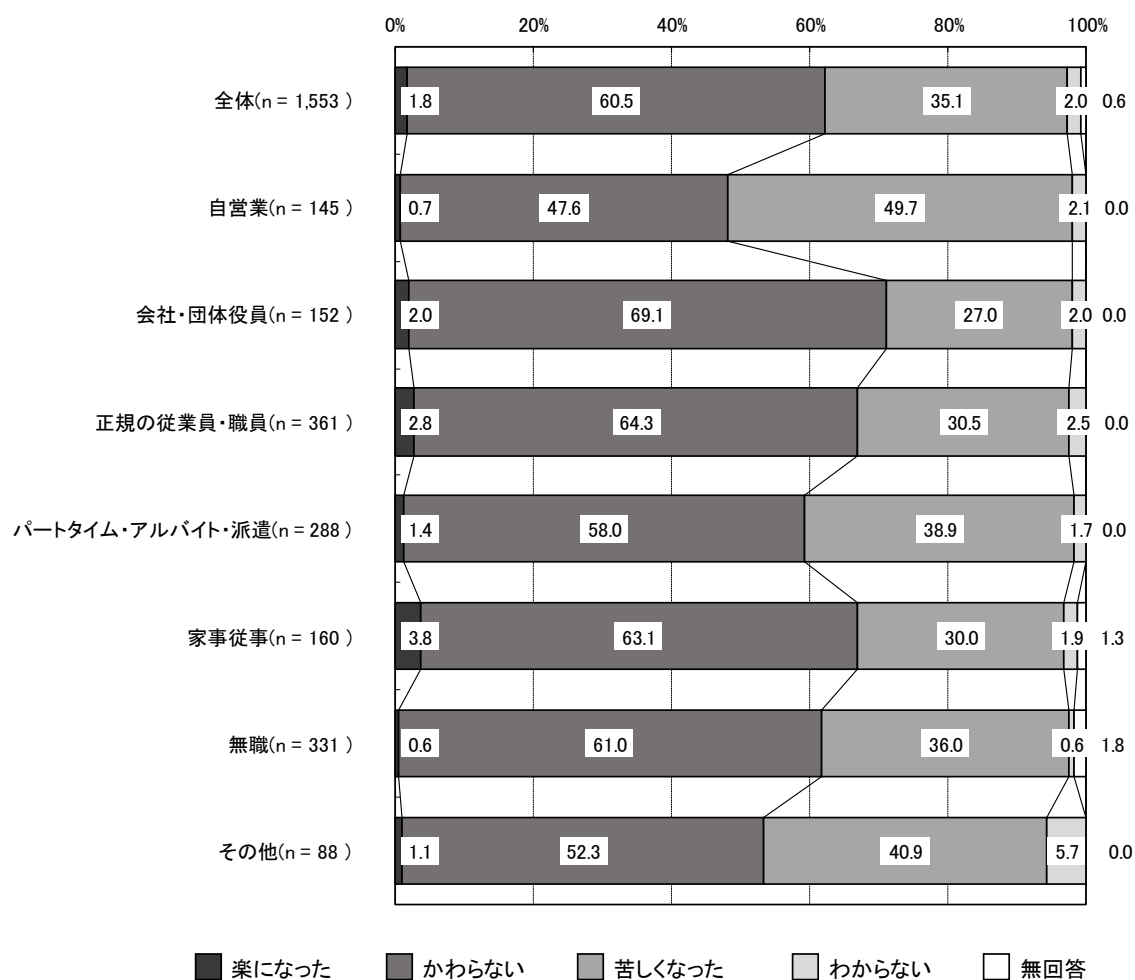
居住圏域別（図 1-6）でみると、いずれの圏域においても「かわらない」が最も高く、そのうち中濃圏域が 62.4%と最も高くなっている。「苦しくなった」は、東濃圏域が 38.5%と最も高くなっている。

図 1-6 【居住圏域別】 暮らしの前年比較



職業別（図 1-7）で見ると、自営業を除くいずれの職業においても「かわらない」が最も高く、自営業では「苦しくなった」が最も高くなっている。

図 1-7 【職業別】 暮らしの前年比較



※ その他には、自由業、学生を含む。